



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会
会長 中村孝也
仙台市青葉区錦町1-3-9
(市役所錦町庁舎3F)
電話 022-224-2581
FAX 022-302-3406

第73回 通常総会開催



2016年6月8日、第73回通常総会
は仙台ユネスコ協会（仙台市役所錦町庁舎3階）において午前10時30分から行われた。

(次ページへつづく)



これからの行事と催事

民間ユネスコ運動の日

- 2016年7月16日(土) ■仙台市シルバーセンター
- 講演「未来に伝えたい世界遺産—私たちにできること (仮題)」
- 講師 雲野右子 氏 (フリーアナウンサー、世界遺産マイスター)

第2回宮城ユネスコ子どもキャンプ

- テーマ／聞いて！聞かせて？君の『声』
- 2016年8月11日(木)～13日(土) ■オーエンス泉岳自然ふれあい館

- 交流会 ●厚木ユ協・青年部 ●新宿ユ協・青年部
- 2016年8月20～21日 ■2016年9月16～17日

東北ブロック・ユネスコ活動研究会山形大会in庄内

- テーマ／若い力とともに学ぼうユネスコの心
- 2016年10月1日(土)・2日(日) ■ホテルリッチ&ガーデン酒田
- 参加費／参加費2,000円／交流会5,000円／宿泊費別途

新事務所移転にあたり寄贈等ご協力いただいた下記の4社(名)に「民間ユネスコ運動の日」の感謝状をお贈りするにいたします。

学校法人 菅原学園 殿
長机を15台
仙台ターミナルビル(株) 殿
木製椅子34台
松栄不動産(株) 殿
廃棄物品処分と運搬など
國分公正 殿
ホワイトボード

なお、鈴木恵奈夫さん(戸棚)、川村洋子さん(冷蔵庫)、伊藤律子さん(プロジェクター)、中島美樹子さんから10万円ご寄附など会員各位からいただきました。

(中村孝也)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

第73回 通常総会 2016年6月8日



中島美樹子事務局長兼専務理事代行の司会進行のもと開会宣言で定款第28条の定足数が全会員274名のうち個人会員35名、団体会員9名、委任状127名の参加により本総会は成立する旨の報告があった。

引き続き政界の方々からの祝電の紹介があり、つぎに松谷会長の開会挨拶では、5月16日にユネスコ会館から、仙台市より全面的なご協力を得てこの仙台市役所錦町庁舎に移転した経緯と、従前同様の行事や会合を行えるようになったことの報告そして新ユネスコ会館設立に向かって、ここに安住することなく次なるステップアップを図らなければならない旨の話があり、皆様のご理解とご協力をお願いした。

次に定款第27条により松谷会長が議長に着き、議案審議に入った。

中島美樹子専務理事代行より「2015年度事業報告・2015年度決算・財務諸表報告」について資料に基づき説明がなされた後、熊谷真人監事より監査報告がなされ、議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

続いて審議事項Ⅰとして「定款の一部改正（案）」について中島美樹子専務理事代行より説明がなされ、議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

次に審議事項Ⅱとして「役員を選任の件」について議長より理事および監事の候補者が発表され、同時に松谷一夫会長、中島美樹子事務局長、小笠原義道理事、水上健治理事より、自ら退任の申し出のあったことが説明され、議長がこれらを議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

さらに審議事項Ⅲとして「2016年度事業計画及び予算（案）」について資料に基づき中島美樹子専務理事代行より説明がなされ、質疑応答の後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決され閉会した。



役員名簿

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	中村 孝也	理事	伊達 洋子	参与	菊地伊津子	参与	早川麻由理
副会長	佐藤 鉄二		富田 義雄		小泉知加子		早坂 敏子
	阿部さか江		内藤 恵子		斎藤 昭雄		林 健一
	千葉 雅保		松坂 宏造		佐藤 高記		原 一代
専務理事	千田 稔	監事	熊谷 真人		佐藤 信		松村 敬子
事務局長	加藤 幸子		富田 亨		佐藤 芳郎		松良 基宏
理事	市瀬 智紀		松谷 一夫		白鳥さち子		水戸 憲子
	兼平 敏子	アルク・パリッシュ	菅原 京子		山田 定道		
	川村 洋子	伊藤 律子	鈴木かつら		山田 武彦		
	菊池 健一	五十嵐梨絵子	千葉 芳明		涌沢 光春		
	佐浦 公美	岩山 浩一	戸室 輝信				
	西條 清和	奥村 静剛	中嶋眞佐子				
須佐 尚康	黄海富寿雄	畠山 明					

2016年度 第2回 理事会 2016年6月8日

通常総会終了後、新体制による2016年度第2回理事会が開催された。

特に、総会で松谷会長はじめ中島事務局長の退任が承認されたため、定款第13条により本理事会は会長、専務理事の選任を行うこととなった。議場からの推薦で中村孝也理事が議長に着き、互選の結果、会長には中村孝也理事が選任され満場一致可決され、引き続き会長からの指名で専務理事に千田稔理事、事務局長に加藤幸子理事が選任され議場に諮ったところ満場一致承認可決された。新役員は名簿の



とおり三役を決定し、3委員会の委員長・副委員長・委員が指名された。

日本ユネスコ運動沖縄全国大会に参加して

2016/6/25～6/26



日本ユネスコ協会連盟 松田会長

2016年6月25日、26日の2日間、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで「第72回日本ユネスコ運動全国大会in沖縄」が全国から450人の会員の参加のもと開催された。大会のテーマは「持続可能な平和のとりでを築こう!」～命どう宝～。仙台ユネスコ協会からは中村会長以下22名が参加した。

大会は地元高校の郷土芸能部の皆さんによるハーリー祭りに纏わる演舞が披露された後、参加者全員による「ユネスコの歌」の合唱で幕が開かれた。

まず主催者挨拶で日本ユネスコ協会連盟松田会長から、「世界を取り巻く社会情勢が不穏であり戦火の気配を感じるが、絶対に戦争はいけない。それを防ぐのが私たちユネスコ活動の使命である。いまだに沖縄は戦火の余波に包まれているが、沖縄県民の声に応え、来年は仙台での70周年大会で、我々が若い人たちに平和への手段と道標を示していくことがいかに大事であるか、皆さんとともに新しい扉を開くように頑張りましょう」との言葉があった。

沖縄県ユネスコ協会東会長からテーマ「命どう宝」の説明があり、琉球王国時代の国王が首里城を明け渡さねばならない時に下士官たちに、自分の命を犠牲にしても、無駄な血を流すなと諭した「言葉」であるという話があった。この「言葉」はその後の悲惨な沖縄戦にも通じるものであり現在の沖縄の主張であることに胸を打たれた。

特別講演では東京大学の高橋哲也教授による「沖縄で平和を考える～一人の戦後日本人の自省から～」と題し、沖縄戦の悲惨さ、眼を伏せたくないような映像と歴史的な背景など解説・思いのお話があった。次にパネルディスカッションでは「語り継ぐ平和」と題して、パネリストとして、沖縄戦で少年時代に戦火の渦中を経て教職に従事され元教育長と元教育委員長のお二人から沖縄戦で日本軍からの命令による身内同志の自決の悲惨な話等生々しい、

痛ましい話があり、ユネスコ運動の平和への願いの深甚さを改めて感じた。夕方からはレセプションが開催され、沖縄の舞踊、そして沖縄民謡が披露された。協会席が別々で交流会としては多少課題を残した。なお私たちは仙台ユネスコ協会のハッピを10着会員有志で着たのはPRの一役を買い好評であった。



仙台ユネスコ協会 中村会長

2日目は開催地の中学校2校の先生から「ESDユネスコスクール事例発表」があり、引き続き未来遺産の紹介として、「現代版組踊 肝高の阿麻和利」の踊りがあり、次に「沖縄の伝統文化の公演」として①国指定重要無形文化財「琉球舞踊」演舞 ②沖縄県指定無形文化財「沖縄の空手・古武術」演武 ③UNESCO無形文化遺産「組踊」公演が行われた。

最終プログラムの次回開催地からの挨拶では、私たち参加者（青年部も含め）24名、そして白石ユネスコ協会引地会長も登壇し、松坂理事が準備した横断幕2幕「たくさんのご支援ありがとうございます。」「仙台に来て下さい!」を左右に広げ中村会長からの大震災時の支援への御礼と次回開催へのご参加願の挨拶並びに青年部からも仙台招聘への挨拶をし、最後に日本ユネスコ協会連盟野口理事長からの閉会の辞で散会となった。

（千葉雅保）



ユネスコ会館お別れ会



4月28日(木)、雨の降る日でした。集まった方は48人。福島県ユネスコ協会の方もおいで下さいました。石井さん(91歳)より、ユネスコ協会が立つ前からの話を聞くことができました。70年前に東北大学教授在仙文化人での結成で、世界平和と文化の交流を目標に始められたそうです。

ユネスコ副会長を30年近くなされた鈴木恵奈夫さん(93歳)、ユネスコ教室木彫りの山本先生(94歳)、ユネスコ教室花の先生、以前事務員をしてくれた阿部さん、長いことユネスコ会員として今も来て下さっている松浦さんは詩吟を謳って下さいました。

建物(ユネスコ会館)がなくなるということは大変悲しいことでしたが、グリーンテーブルの上に置かれた弁当の包み紙にはユネスコの建物が桜色に描かれていて、「うわー」という声が聞こえ、たいへん感動しました。先人達の思いに向かって前進すること、そして早いうちにユネスコ会館が建つことを皆で祈念して終わりました。



旧仙台会館の写真が入った掛紙



ユネスコの事務所が移りました(お知らせ)

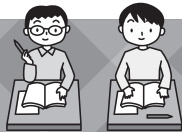
仙台市長の計らいにより、5月16日ユネスコの事務室が青葉区錦町1丁目3-9(仙台市役所錦町庁舎3階)に移りました。移転の際は多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

思えば、59年の月日が経ち、地下倉庫に眠るいろいろなものが厚く誇りを被り、片付けに大変でした。図書室の本は2ヶ月以上かけて整理し、同じように本棚に収めるこ

とができました。一番うれしかったことは、前と同じようにユネスコ教室ができることです。30坪の広さのワンフロアですが、戸棚は鈴木顧問より、机は菅原学園より、椅子は仙台ターミナルビル(株)より、白板は中国語教室の国分さんより、冷蔵庫は会員の川村さんよりいただきました。室内は、たいへんよく整いました。

どうぞお近くにおいでの際は、お立ち寄り下さい。お待ちしております。来年の7月15日、全国大会が仙台で開催されます。

青年部だより



「春の新入生歓迎会」報告(4月10日)

4月10日(日)、牛越橋で新入生歓迎バーベキュー(BBQ)を行いました。参加者は青年部と一般参加者合わせて19人。子どもキャンプに参加してくれた高校生や、留学生交流会に参加してくれた外国人留学生がきてくれました。前回のイベントから引き続き参加してくれる人がいて嬉しく感じました。イベント当日は、自己紹介ゲーム、ユネスコの説明、BBQ、牛タン争奪戦ゲームという流れで行いました。担当

それぞれがきちんと準備をしたお蔭で、スムーズに会が進んだと思います。

新歓を通して思ったことは、企画を宣伝することの大切さとイベントを一つ一つ丁寧にやっていると、必ず次のイベントに繋がるということです。楽しい時間を過ごした参加者が、次のイベントに知り合いを連れてきて新たなユネスコの輪が広がる。そのような繋がりを増やしていくためにも、一つ一つの活動を大切にしていきたいと思っています。

付記：気仙沼ユネスコ協会の新野さんからお肉の差し入れがありました。有難うございました。

(佐藤 光・宮城教育大院生)



“11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった52(50)円ハガキは1枚につき47(45)円の募金に替えることができます。11枚あつまれば、カンボジアではひとりがひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	105
個人会員	161
青年部会員	12
合計	278

(2016.7.7現在)

【編集委員】

千葉雅保 兼平敏子 富田義雄
伊達洋子 山田武彦 小泉知加子
菅原京子 黄海富寿雄 佐藤高記
戸室輝信 林 健一 佐藤 信
早川麻由理

【編集後記】

6月8日の総会で新役員が選任されました。4~6月の活動は記事の通り、来年に控えた仙台ユネスコ協会70周年「第73回日本ユネスコ運動全国大会in仙台」の参考に沖縄全国大会に参加した記事が寄せられました。

会報でも大会に向けて着々と準備がすすんでいくよう情報を共有しながら発信していきます。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。(副編集委員長 小泉知加子)